



TITLE:

表紙・投稿規定・ニュース・プレ
プリント案内・掲示板・編集後記
・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・ニュース・プレプリント案内・掲示板・編集後記・
目次・裏表紙ほか. 物性研究 1966, 6(3): 107-113

ISSUE DATE:

1966-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85895>

RIGHT:

昭和41年6月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第6巻第3号

vol.6 no.3

物性研究

1966/6

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシヤの指定を忘れないように。oとaと0(ゼロ), uとnとrr, cとeが一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P: 400字詰原稿用紙による頁数
X: 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は 400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。
英字の大、花文字、ギリシヤの指定を忘れないように。oとaと0(ゼロ), uとnとrr, cとeが一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 図の縮尺はいたしませんから適当な大きさに画いて下さい。
6. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記方式により現金で前納していただきます。
P: 400字詰原稿用紙による頁数
X: 別刷所要部数
別刷代 = $\frac{3}{4} X P$ 円
7. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

研究会は、これらの問題をその方向に一步進めることを目的として行いたいと思う。

規模

参加人員 約15名 一回の会合(京都)

予算

10万円

〔アトム型研究計画〕

(1) 研究テーマとその内容

・素粒子の時空構造について・

前にアトム型の研究計画において質量を量子化する場の量子論の形式を研究した。

(その結果はProg. Theor. Phys. 30 (1963) 236 に報告した)

今回計画していることは、上の形式を利用して素粒子の時空的な構造を研究することである。特に rotator 模型や剛体模型についての研究を主な目的にしている。

(2) 研究者名 江夏 弘(立命大、理工)

(3) 期 間 41年10月1日→42年3月31日

(4) 旅 費 不 要

(5) 必要な校費 総 額 5000円(基研以外での文献複写費用など)

(6) 研究場所 基 研

ニ ュ ー ス

鈴木 増 雄 : 4月1日付東大理・物理久保研助手となる

プレプリント

長岡洋介	基礎物理学研究所より名古屋大学理学部物理学教室S研へ移られた。(41年5月1日)
小川泰	4月1日より京都大学長谷川研の助手となる。
吉森昭夫	名古屋大学より物性研理論第1部門助教授に移られた。
石井広湖	大阪大学より物性研理論第1部門助手に移られた。
井上正晴	都立大学理学部助教授に昇任。
石橋善弘	名古屋大学工学部助教授に昇任。
岩崎準	理化学研究所研究員
山形一夫	神戸大学理学部講師に昇任。
白鳥紀一	大阪大学理学部講師に昇任。
柊元宏	物性研光物理部門助手に採用。
溝口正	物性研磁気第1部門助手に採用。

プレプリント案内

- o Solution of the Exchange-Scattering Problem without Inadmissible Complex Poles. (H. Suhl and D. wong)
- o The Energy and Specific Heat due an Impurity Atom in a Dilute Alloy. (B. Kjöllerström, D. J. Scalapino and J. R. Schrieffer)
- o Strong Coupling Superconductivity I. (D. J. Scalapion, J.R. Schrieffer and J. W. Wilkins)
- o The Uniform Limit and the Charged Boson System. (Eugene Feenberg and Deok-kyo Lee)

プレプリント

長岡洋介	基礎物理学研究所より名古屋大学理学部物理学教室S研へ移られた。(41年5月1日)
小川泰	4月1日より京都大学長谷川研の助手となる。
吉森昭夫	名古屋大学より物性研理論第1部門助教授に移られた。
石井広湖	大阪大学より物性研理論第1部門助手に移られた。
井上正晴	都立大学理学部助教授に昇任。
石橋善弘	名古屋大学工学部助教授に昇任。
岩崎準	理化学研究所研究員
山形一夫	神戸大学理学部講師に昇任。
白鳥紀一	大阪大学理学部講師に昇任。
柊元宏	物性研光物理部門助手に採用。
溝口正	物性研磁気第1部門助手に採用。

プレプリント案内

- o Solution of the Exchange-Scattering Problem without Inadmissible Complex Poles. (H. Suhl and D. wong)
- o The Energy and Specific Heat due an Impurity Atom in a Dilute Alloy. (B. Kjöllerström, D. J. Scalapino and J. R. Schrieffer)
- o Strong Coupling Superconductivity I. (D. J. Scalapion, J.R. Schrieffer and J. W. Wilkins)
- o The Uniform Limit and the Charged Boson System. (Eugene Feenberg and Deok-kyo Lee)

- o Quantum Theory of Dynamic Magnetoresistance. (Shigeji Fujita)
- o Statistical Mechanics of Turbulent Plasmas I.
— Diagram Formulation for the Klimontovich Equation.—
(Kyoji Nishikawa)
- o Dynamic Effects in Paramagnetic Resonance of Magnetic Ions in Metals (B. Giovannini M. Peter S. Koide)
- o Anomalous ESR Line Width of Phosphorus Doped Silicon in the Metallic Conduction Region (Shigeru Malkawa)
- o Nuclear Spin-Lattice Relaxation in Solid Methane at Low Temperatures (Gerhardus A. de Wit)
- o Transverse Ultrasonic Attenuation in Gapless Superconductors (K. Maki)
- o The Effect of Pauli Paramagnetism on Magnetic Properties of High Field Superconductors (K. Maki)

[京大物理]

- o connected Diagram Expansion of Transport Coefficients I Electron-Impurity System (Shigeji Fujita)
- o Quantum Theory of Dynamic Magnetoresistance (Shigeji Fujita)
- o Strong Coupling Superconductivity I (D. J. Scalapino J. R. Schrieffer J. W. Welkins)
- o Diffusion Constants Near the Critical Point for Time-Dependent Ising Models II (Kyozi Kawasaki)
- o Semiclassical Theory of Magnetic Energy Levels and Magnetic Susceptibility of Block Electrons (Laura M. Roth)
- o Localized Magnetic Moments in Metals (Lowell Dworin)
- o Plasma Kinetic Equations (John c. Price)

掲示板

- o Cluster Approximations for Order-Disorder Type Hydrogen Bonded Ferroelectrics I. Small Clusters (R. Blinc Svetina)
- o The Relation between the Anderson and Kondo Hamiltonians (J. R. Schrieffer P. A. Wolff)
- o The Orbach Spin-Lattice Relaxation of Shallow Donors in Silicon (Theodore G. Castner)

掲 示 板

・2nd Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics・〔物性の部〕参加者募集

1966年度のTokyo Summer Summer Institute of Theoretical Physics(物性の部)の計画につきましては、昨年夏開かれた第1回夏の学校の際、本年夏開かれた第1回夏の学校の際、本年秋開かれる半導体そしてその事務局において関係各方面と連絡をとり、具体化の検討を重ねてきました。その計画の概要につきましては、既に物性グループの大部分の方々にはアンケートを求める際にお知らせしました。その後アンケートの結果に基づき、5月12日に在京有志が集つて検討した結果、本年度のSummer Institute(物性の部)を下記のように開くことになりましたので、正式に参加者を募集致したいと存じます。

- 1 主 題 光物性のダイナミックス
- 2 期 間 1966年8月28日 (日) 登録
8月29日 (月) ~ 9月3日 (土)
- 3 場 所 大磯クリスチャンアカデミーハウス
- 4 講師と講義の題目

掲示板

- o Cluster Approximations for Order-Disorder Type Hydrogen Bonded Ferroelectrics I. Small Clusters (R. Blinc Svetina)
- o The Relation between the Anderson and Kondo Hamiltonians (J. R. Schrieffer P. A. Wolff)
- o The Orbach Spin-Lattice Relaxation of Shallow Donors in Silicon (Theodore G. Castner)

掲 示 板

・2nd Tokyo Summer Institute of Theoretical Physics・〔物性の部〕参加者募集

1966年度のTokyo Summer Summer Institute of Theoretical Physics(物性の部)の計画につきましては、昨年夏開かれた第1回夏の学校の際、本年夏開かれた第1回夏の学校の際、本年秋開かれる半導体そしてその事務局において関係各方面と連絡をとり、具体化の検討を重ねてきました。その計画の概要につきましては、既に物性グループの大部分の方々にはアンケートを求める際にお知らせしました。その後アンケートの結果に基づき、5月12日に在京有志が集つて検討した結果、本年度のSummer Institute(物性の部)を下記のように開くことになりましたので、正式に参加者を募集致したいと存じます。

- 1 主 題 光物性のダイナミックス
- 2 期 間 1966年8月28日 (日) 登録
8月29日 (月) ~ 9月3日 (土)
- 3 場 所 大磯クリスチャンアカデミーハウス
- 4 講師と講義の題目

揭示板

- J. Bok : Plasma and magneto-plasma phenomena in solid state optics
- E. Bustein : Electro-magnetic fields in solids
- H. Haken : Dynamics of non-linear interaction between radiation and matter
- J. J. Hopfield : Optical processes in insulators and semiconductors. Effects of electron-electron interactions on optical processes in metals
- T. Kurosawa : 題未定
- M. Lax : Quantum theory of noise in masers and lasers
- J. C. Phillips : Band structure and optical properties of metals
- Y. Toyozawa : 題未定
- L. V. Keldysh 交渉中
- 5 プログラム

	午前		午後		
	9.00~10.30	11.00~12.30	2.00	4.00	6.00
23日			登 録		
29日	Burstein	Bok		黒 沢	
30日	Bursteui	Bok		セミナー	
31日	Hopfield	Phillips	遠 足		
1日	Hopfield	phillips		豊 沢	セミナー
2日	Haken	Lax			セミナー
3日	Haken	Lax	閉 会		

- 6 参加人員： 国内参加者 約70名（大磯アカデミーハウスに宿泊）
国外参加者（講師を含めて）約30名

掲示板

- 7 参加者の対象： 原則として博士課程在学以上
- 8 宿泊施設と費用：大磯クリスチャンアカデミーハウスは、大磯ロングビーチホテルの隣で、大平洋を望み、富士山を仰ぐ景勝の地で、快適な宿泊施設とよいmeeting hall をもっています。宿泊費は3食含めて6日間で15,000円です。
- 9 奨学金： 宿泊費が多少かさみますので、現在1名当たり平均15,000円の半額を補助できるよう募金に努力しています。奨学金としては個人の事情に応じ一人5,000円、7,500円、10,000円の3種類を考えています。

以上のような内容でSummer Instituteを開きますので、参加御希望の方は次の要領でお申し込み下さい。

記入事項	氏名、最終学歴、所属（大学院生の場合は指導教官の氏名）、現在やっている仕事のテーマ
申し込み期間	1966年6月30日まで
宛先	東京都文京区本郷7丁目 東京大学理学部物理学教室 植村泰忠

編集後記

タメ息と共にタイプ原稿を校正した所です。編集標準ページ数の半分弱という薄さではお手元にとどけるのにいささか気がひけます。近い内に又特集号を編集してそのうめあわせはしたいと思います。

講義ノートは近い内に又連載いたしますが、お世話下さる人をつかまえやすいという点からどうしても編集部近くの人に依頼し勝ちです。各地区の編集委員の方々からの積極的な御援助を期待します。

掲示板

- 7 参加者の対象： 原則として博士課程在学以上
- 8 宿泊施設と費用：大磯クリスチャンアカデミーハウスは、大磯ロングビーチホテルの隣で、大平洋を望み、富士山を仰ぐ景勝の地で、快適な宿泊施設とよいmeeting hall をもっています。宿泊費は3食含めて6日間で15,000円です。
- 9 奨学金： 宿泊費が多少かさみますので、現在1名当たり平均15,000円の半額を補助できるよう募金に努力しています。奨学金としては個人の事情に応じ一人5,000円、7,500円、10,000円の3種類を考えています。

以上のような内容でSummer Instituteを開きますので、参加御希望の方は次の要領でお申し込み下さい。

記入事項	氏名、最終学歴、所属（大学院生の場合は指導教官の氏名）、現在やっている仕事のテーマ
申し込み期間	1966年6月30日まで
宛先	東京都文京区本郷7丁目 東京大学理学部物理学教室 植村 泰 忠

編集後記

タメ息と共にタイプ原稿を校正した所です。編集標準ページ数の半分弱という薄さではお手元にとどけるのにいささか気がひけます。近い内に又特集号を編集してそのうめあわせはしたいと思います。

講義ノートは近い内に又連載いたしますが、お世話下さる人をつかまえやすいという点からどうしても編集部近くの人に依頼し勝ちです。各地区の編集委員の方々からの積極的な御援助を期待します。

物 性 研 究

第6卷第3号

1966年6月20日発行

発行人 松 田 博 嗣

印刷者 倉 本 作 雄
京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会
電話(77)・8111内線983
振替京都 5321
京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内

目 次

s-d相互作用による基底状態のエネルギー	近藤 淳	85
「Fluctuating Perturbation」についてのコメント	倉田 泰幸	89
研究会報告		
超電導・超流動研究会		92
資 料		
基研後期研究計画申込写		100
ニ ュ ー ス		107
プレプリント案内		108
掲 示 板		110
編 集 後 記		112

目 次

s-d相互作用による基底状態のエネルギー	近藤 淳	85
「Fluctuating Perturbation」についてのコメント	倉田 泰幸	89
研究会報告		
超電導・超流動研究会		92
資 料		
基研後期研究計画申込写		100
ニ ュ ー ス		107
プレプリント案内		108
掲 示 板		110
編 集 後 記		112